

飛驒市

書を通じ古里に貢献 茂住さんへ感謝状



都竹淳也 飛驒市長(右)から感謝状を受け取った茂住修身さん=市役所

飛驒市は3日、書を通じた古里への貢献に感謝し、同市古川町出身の書家・茂住修身(雅号菁邨)さん

(64) 神奈川県川崎市に感謝状を贈った。

茂住さんは約40年間にわたり内閣府の辞令専門職務を、国の辞令や表彰状などの墨書を担当している。

新元号発表時に官房長官が掲げた「令和」の字を揮毫した。

地元の飛驒市でも、依頼を受けて多くの作品を手掛けていく。古川祭をPRする観光施設「飛驒古川まつり会館」(同町壱之町)の

6月のリニューアルに合わせ、同祭をイメージした「静」と「動」の2作品を揮毫。ドラゴンス根尾昂選手の後援会設立時にも、会員証の「昂」の字を書いた。

市役所で都竹淳也市長から感謝状を受けた茂住さんは、「大切な郷土の助けになり、うれしいと喜んだ。都竹市長は「茂住さんの活動で」市民が書に親しむ機会が格段に増えた」と話した。(稲木悠司)